

校長通信（6 / 7 月号）

July 19 / 2024 / VOL 022

あなたにとって「ホーム」とは

御殿場西高校は「居場所と出番を創り続ける」ことをビジョンとして掲げています。日本全国、むしろ世界中の学校で、生徒たち一人ひとりの「居場所」づくりが求められています。これだけ不安定な時代です。これだけ不透明な時代です。自分が属する地域コミュニティも変化し、人とのつながりを感じにくい社会になりつつあります。だからこそ、自分らしくいられる場が必要で、それが「居場所」という言葉で表現されています。御殿場西高校は創立当初から、生徒たちの居場所を大切にしており、同時に教職員の居場所でもあります。

さて、この居場所という言葉は「物理的に安全な場」「心理的に安心な場」「ホーム」の3つの視点で考えてみましょう。まず、「物理的に安全な場」とは学校生活における事故や怪我等のリスクのない安全性の高い場であり、災害が発生した時に命を守ることでできる場です。一方で、「心理的に安心な場」は、ありのままの自分でいられる空間のことであり、自分が受け入れられ、認められている場のことになります。心理的安全性については、一般企業でも重要視されており、Googleではこの心理的安全性の高さを重要視していたことにより、世界中で注目された言葉でもあります。そして3つ目の、「ホーム」ですが、このホームこそ御殿場西高校が御殿場西高校である理由なのではないかと感じています。

ホームとは「家・家庭・自宅・故郷・祖国」といった意味があります。自分が帰る場所、自分が所属する場所、自分の心の中にある温かい場所です。家族、友人、仲間たちが集い、同じ思いを共有し、日々時間をともにする場です。僕にとって、この御殿場西高校はホームの一つですが、さらにホームだと思っている場所があります。それは「母校」です。母校で出会ったクラスメイト、先生たち、部活動の仲間たちが僕のホームです。一番心を熱くした場所であると同時に、本気で誰かのために心を燃やした場所です。自分を本気で応援してくれる仲間たちの顔を今でも覚えていますし、逆に本気で頑張る仲間を応援している自分の姿も覚えています。いつでも帰ることができる場であり、これから先も僕の母校であることは変わることはありません。

日々生きていく中で、自分がホームだと感じられる場があることは本当に幸せなことだと思います。生きていけばいいこともあれば、壁にぶつかることもあります。悔しく、立ち直れないほどの屈辱や挫折を経験することもあるかもしれません。そんな時に、ホームがあるということが本当に幸せに感じられるのです。どんなに時代が変わっても、どんなに自分自身が変わってしまっても、ホームは一決して変わることはありません。自分の心が帰る場所であり、どんな時でも心の中で自分を力強くしてくれる存在です。今、本校に在籍している生徒たち、卒業生たち、そして教職員OBたちにとっても、これからも御殿場西高校はホームとなり、一生変わることはありません。

利己主義的になりつつある社会、希薄化し続ける人との繋がり、失われていく共感性。そんな時代だからこそ、学校はみんなにとってのホームでなくてはなりません。今、生徒たちの多様なニーズに応える形で、さまざまな教育サービスが登場しています。しかし、それらは教育サービスの域を越えることは難しいだろうと思っています。ホームは手触り感、物理的な所属感、一部になるような感覚が不可欠です。そして、ホームは与えられる場所ではなく、みんなで作り上げていくものでもあります。だから母校になるんです。温かい居場所になるんです。それが御殿場西高校です。これまでも多くの卒業生たちにとって、御殿場西高校がそうであったように、これから先もずっと、本校はみんなの温かいホームであり続けていきます。

みんなで作りましょう。みんなが心から誇れるホームを作りましょう。

校長のスキトクNOTE

御殿場西高校は「好きと得意で未来を選ぶ学校」というキャッチフレーズを掲げています。まさに「好き/得意（ギフト）」を発掘し、発揮し、磨き続けていくことが、御殿場西高校の学びの柱となっています。これまで独り言を呟き続けた「校長NOTE」は「スキトクNOTE」として生まれ変わりました。本校でスキトク磨きで輝く人たちを紹介していくものに切り替えていきたいと思っています。（校長の独り言は継続していきますが笑）

齋藤錬先生とのインタビュー、夢ラジオでの生徒2人へのインタビューなど面白いものばかりでした。Youtubeにボーカロイドを活用して動画をアップロードする生徒や、ラーメン図鑑を作成しようと燃える生徒、スケボーの技を高めていこうとする生徒など、スキトクの形は様々です。共通しているのは、みんな本当に楽しそう！ということ。彼らのキラキラ感をお届けしていくのが僕のこれからのお仕事です！



保護者会主催 奉仕活動

6月22日（土）御殿場西高校の伝統となっている保護者会主催の奉仕活動が行われました。毎年、生徒、教職員、保護者が一緒に校舎の清掃を行うものです。御殿場西高校では「居場所」を大切にしていますが、居場所はみんなで作っていくもの。保護者の皆さんも一緒に生徒たちのために居場所づくりをしてくれる、そんな素敵なイベントを本校は伝統としてずっとやっています。暑い中でしたが、みなさまありがとうございました！



Go Speak EVENT

ずっと前からやりたかったことがありました。それは英語でイベントをやること。英語科の皆本先生とLISA先生と一緒に「Go SPEAK English」というイベントを開催しました。市内に住む小中学生と、本校の生徒と先生が英語で遊び学び合うというイベントです。勉強するのではなく、遊ぶことで学べます。これが本当の英語学習です。海外で留学を経験するのと同じ体験が、ここ御殿場でもできたらどんなに素敵なことでしょうか。国際的な体験は手を伸ばせばすぐそこにあって、英語は勉強するものではなく、遊ぶために使うものなんです。



保護者の皆様へ

いつも本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。1学期も終わり、時間が経つのが年々早くなっていると感じる今日この頃です。私にとってはまた来年も1年はやってきますが、生徒たちにとって高校生活は1度きりです。御殿場西高校での日々を大切にしてもらいたいと思います。

今回、私は「ホーム」ということについて書かせていただきました。心の中にホームがあるということは大変幸せなことだと思います。そして、御殿場西高校の生徒たちには、卒業後、全員がこの場所をホームと感じてもらえるようになってもらいたいと思います。本校で出会った仲間たち、教職員、地域、校舎、そしてこの空間を、大人になっても、どんなに変わってしまっても、ずっとホームとして感じてもらいたい。心の底からそう思います。

